

第8回スポーツファシリティーズ大賞（スポーツ庁長官賞）

受賞名：SAGA サンライズパーク

（SAGA アリーナ・SAGA アクア・SAGA スタジアム）

受賞者：佐賀県/梓設計・石橋建築事務所・三原建築設計事務所共同企業体

【受賞理由】

SAGA2024 国スポ・全障スポ開催を契機に、1976 年の国民体育大会佐賀大会の主会場であった場所に、既存の施設（陸上競技場）を保存活用しながら新設も含めて再整備をし、人が集まるエリアとしての一体的な利活用を可能にした交流拠点施設であること、その他、以下の点が評価された。

- プロスポーツ開催時には JR 佐賀駅からパークまでの「サンライズストリート」において、スポーツの体験プログラムやキッチンカーによる飲食提供等、地域やチームと一体となった「ストリートフェスタ」を開催することで、イベント時の賑わいをまち全体へ波及させ、歩くライフスタイルの推進を積極的に行っている。
- スポーツ施設に加え、ウッドデッキのオープンテラスにカフェ・ショップがあるくつろぎの空間「パークテラス」、3 つのコースでランニングが楽しめる「ランニングループ」など、イベント開催の日以外にも、日常からスポーツや食事、ショッピングなどそれぞれのスタイルで楽しめる空間を提供している。
- 地球環境への配慮として、SAGA アクアに付属するエネルギーセンターでパーク全体のエネルギー負荷の平準化を図るとともに、太陽光発電や太陽熱・地中熱・井水熱を空調の熱源等に利用することで省エネ化を図り、その効果を見える化している。また、万一の災害時には、パークを輸送拠点・一時避難所として機能させ、アリーナ諸室に被災者を受け入れることができる。



撮影：Kouji Okamoto

＜概要＞

施設概要：アリーナ、水泳場、陸上競技場

敷地面積：164,682.84 m² 施設面積：70,619.81 m²

竣工年月日：2023 年 5 月

所在地：佐賀県佐賀市日の出 2-1-10

評価実績等：東洋経済 ONLINE、日経アーキテクチュア、日本経済新聞等に取り上げられている。

第8回スポーツファシリティーズ大賞（日本スポーツ施設協会会長賞）

受賞名：彦根総合スポーツ公園陸上競技場
（平和堂 HATO スタジアム）

受賞者：（株）佐藤総合計画 関西オフィス

【受賞理由】

国宝・彦根城に隣接する立地条件を活かしつつ、その歴史的景観への調和を考慮し、高さを抑え周囲への圧迫感を低減した建物形状、騒音・光害を抑えた住環境への影響を最小にするような工夫がされていること、また、これからの競技場のあり方として「いかに街に開くか」を念頭に、スポーツ人口の拡大やスポーツを通じた街の発展等の新たな可能性が感じられる。

○公園内の様々なエリアから2階エリア（回遊可能なスタジアムリング）へのアクセスを可能にし、誰もが日常的に使用できることで、立体的な公園空間を創り上げている。また、彦根城側と連絡通路で繋げ、直接アクセスが可能とし、観光の動線にスポーツの動線が加わることで、公園に新たな賑わいが生み出される。

○競技場外観には、かつてこの地で市民の生活に使用されていた「百間橋（ひやっけんばし）」の構成をモチーフにした組木形状のフレームを使うことで歴史を継承し、和の景観と調和する競技場を実現させた。また、そのフレームの中にコルテン鋼ルーバーを設け、競技場外への騒音を遮音することに加え、コルテン鋼の特性を活かし、年月が経つにつれ耐久性・風合いが増すことで時の流れ（変化）を感じさせるデザインとした。



＜概要＞

施設概要：第1種公認陸上競技場

敷地面積：155,880.55 m²

施設面積：建築面積（14,497.31 m²）延床面積（24,196.33 m²）

竣工年月日：2022年12月

所在地：滋賀県彦根市松原町3028

評価実績等：日本建築家協会「優秀建築選2023」に選出、令和5年度プレストレストコンクリート工学会賞（作品賞）を受賞している。

第8回スポーツファシリティーズ大賞（日本スポーツ施設協会会長賞）

受賞名：きたぎんボールパーク（いわて盛岡ボールパーク）

受賞者：盛岡南ボールパーク（株）

【受賞理由】

プロ野球も開催できる本物志向を取り入れながらも日常使いができ、豊かな自然環境と一体となり、ふるさとの記憶をより強く持たせる、地方の公共野球場としての新たな型を提案している。内外野を通じて360度回遊できるコンコースを主軸に、観客席はコンコースと表裏の関係を失くすことによりコンコースからもフィールド全体が見渡せ、来場者に視覚的感動を与えることができる。その他、以下の点が評価された。

○野球場コンコースは365日誰でも入ることができ、キッズスタジアムを含めあらゆる世代・コンディションの方が日常運動の場として使用できる、公園地形と一体となった開放型野球場である。

○観客席のカラーリングデザインには南部紫などを想起する地域性を意識した色（むらさきいろ）を、球場に隣接するキッズスタジアム（遊具）の素材には東京五輪2020で使用した岩手県木材をレガシーとして活用し、サインやベンチ、外装モチーフの素材には岩手県の近代製鉄発祥に代表される「鉄」を用いるなど、地域の持つ素材力により、岩手・盛岡らしさを表現している。



撮影：株式会社エスエス 齋藤 涼

<概要>

施設概要：野球場、屋内練習場

敷地面積：89,676.07 m² 施設面積：20,910.19 m²

竣工年月日：2023年3月31日

所在地：岩手県盛岡市永井7地割16-2

評価実績等：日経アーキテクチュア等に掲載、いわて木材利用促進施設等コンクール「特別賞」を受賞

第8回スポーツファシリティーズ大賞（日本スポーツ施設協会会長賞）

受賞名：新潟市亀田総合体育館の管理・運営

受賞者：（公財）新潟市開発公社

【受賞理由】

- 職員から運営管理に係る改善事項や提案を募る「ボトムアップ提案」事業の実施や、利用者からの危険箇所報告システムを取り入れ、サービスの質の向上や利用者の施設への愛着醸成、安全対策に繋げている。他の施設のモデルとなり得る事例である。
- 地元商店等の協力によりイベントや各種スポーツ体験会を開催し、多くの集客を得て地域活性化と施設の新規利用者獲得に繋げている。
- 有事の際には避難所や支援物資集積所として使用されるため、新潟市の災害対応を支援する体制を整え、地域住民への避難所体験会を開催するなど、災害時に備えている。



HP 問い合わせフォーム写真アップロード機能追加



新潟ケーブルテレビにて亀田縞利用促進取り組みを紹介



避難所体験会

<概要>

設置者：新潟市

所在地：新潟県新潟市江南区茅野山 3-1-13

施設概要：アリーナ、室内温水プール、トレーニングルーム、武道場・屋内多目的運動場、テニスコート 他

評価実績等：JPPC アワード 2022「事業改善部門賞」を受賞